

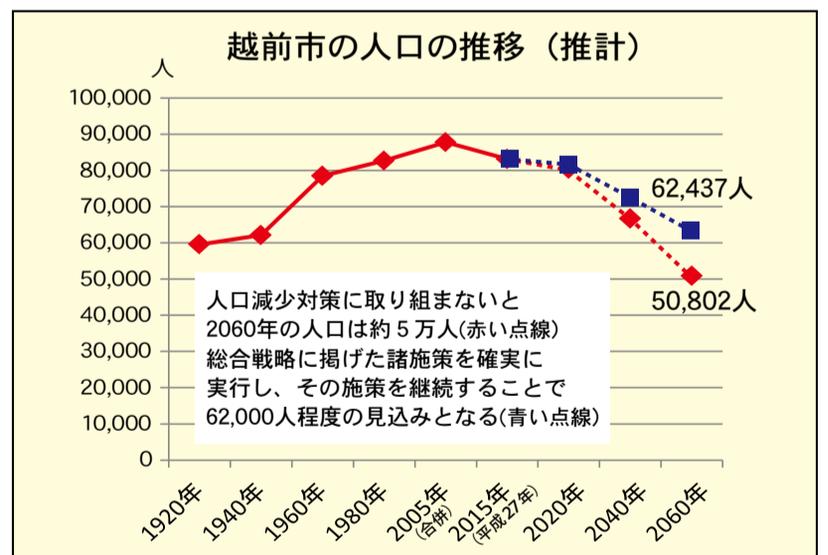


越前市総合戦略を論議 —人口減少を見据えて—

越前市の人口は、平成17年の合併以降減少を続けており、人口減少に歯止めをかけるための施策が求められています。

昨年11月策定の越前市総合戦略では、「女性が輝くモノづくりのまち…子育て・教育環境日本一」をタイトルに掲げ、働く人の確保と市内居住を促進する施策や、安心して子育てができる環境をさらに整え、女性の幅広い社会進出を後押しする施策に取り組むことに力点を置いています。

12月定例会では、代表質問で4会派一般質問では7議員が、この市総合戦略や人口減少問題に関する質問を行いました。理事者からは生産年齢人口の確保やIJUターンによる人口増を目指す、各事業に継続的に取り組む等の答弁がありました。



(資料：国勢調査、国立社会保障・人口問題研究所「将来人口推計」)
(合併前の人口は旧武生市と旧今立町の合計)

「越前市総合戦略」とは？



越前市は、人口減少に歯止めをかけ、持続可能な地域づくりを実現するため、「越前市総合戦略」を策定しました。

総合戦略では、今後5年間に取り組むべき5つの基本目標を定めました。

- ① 生産年齢人口を確保
- ② IJU(移住) ターンする人を支援
- ③ 非婚・晩婚化を改善
- ④ 子ども条例による子ども・子育て支援と教育の充実
- ⑤ イメージアップ(情報発信)



本号の主な内容

- 2～3面 ◆ 代表質問
◆ 予算・議案審査 など
- 4～5面 ◆ 一般質問 など
- 6面 ◆ 議案等の審議結果 など

12月定例会 代表質問

未来

市民ネットワーク

誠和会(自民・公明)

政新会

日本共産党議員団

代表質問は、当初予算の編成を前に、各会派の政策提言・意見が反映できるよう12月定例会に実施しています。今回は5つの会派を代表して6人の議員が質問を行いました。その主な内容は次のとおりです。
なお、詳細及びその他の質問については、市議会ホームページの会議録検索システムをご覧ください。

■越前和紙の里を整備し情報発信を強化せよ



伊藤 康司

問 紙漉き道具が国の文化財に指定されたことを受け、イメージアップや集客効果をアップさせるために、和紙の里に収蔵庫を建設し、市内和紙産地の情報発信の窓口として、更には、丹南地域の窓口としての整備に力を入れることは考えられないか。

答 国指定重要有形民俗文化財の和紙及び製作用具については、文化庁と協議した上で、費用対効果も考慮し、今立歴史民俗資料館を改修して収蔵庫とする方針を決定し、12月補正予算案に所要額を計上した。和紙産地の情報発信機能を更に強化したい。

■根本的な鳥獣害対策を進めよ



西野与五郎

問 鳥獣害の中でも、イノシシの被害が突出している。①捕獲に向けた現状と課題、②捕獲に向けた狩猟友会の会員増対策、③捕獲後、焼却場への搬送作業ができない集落への支援は。

答 ①被害状況は25年度26年度共に被害面積で約38ha、金額で約一千万円。26年度は捕獲数が25年度と比較して倍増したが被害が減少しなかったことが課題。②狩猟免許を取得し猟友会に入会する場合は、免許取得に係る講習会受講料の全額を支援。③焼却処分費は市が全額負担。焼却場へ運搬ができない集落については有料で民間業者が回収している。

■質問項目

工芸の里構想・新庁舎建設と中心市街地活性化・南越駅(仮称)周辺整備・自治振興会・鳥獣害対策・たけふ菊人形・地域包括ケアシステム・小中学校、保育園、幼稚園の取り組み・子ども会等の強化・人口減少とふるさと創生・市総合戦略・原発災害対策・吉野瀬川ダム



佐々木富基

■企業の雇用拡大を契機に定住化促進を図れ

問 市内企業の増設が進む中で、雇用の拡大が図られている。この機会を最大に利用する中で定住化の促進を図ることは、喫緊の課題である。市内の住環境の整備に對してどのような支援策を考えているのか。

答 定住化促進については、市内企業の旺盛な求人に応えるため、生産年齢人口の確保が重要であると認識している。市内への居住の促進については、これまでの空き家情報に加え、共同住宅・アパート等の空き室情報の効果的な発信に努めていきたい。

■新庁舎をまちづくりの拠点とすべき

問 新庁舎はまちづくりの顔であり、まちなか再生の起爆剤にならなければならぬ。今までに中心市街地に多くのハード的な投資をしてきたが、新庁舎を中心とした市民をまちなかへ誘導するためのまちづくりの仕掛けについて、どのように考えているか。

答 新庁舎の建設に伴い、市民が憩い賑わう場所として、庁舎南側に新たに交流広場を駅前から総社までのシンボルロードと一体的に整備するとともに、蔵の辻との連携を図り、来訪者にも誇れる中心市街地の活性化とまち空間の再生につなげていきたい。

■質問項目

市人口ビジョンと市総合戦略・福祉社会の充実・都市基盤整備・商工業、農業の振興・防災体制・安心して学べる教育環境



前田 一博

■授産製品の販路拡大を支援せよ

問 平成25年4月1日に「障がい者優先調達推進法」が施行されたが、今後の販路拡大についてどのように考えているか。

答 市内の9つの障がい福祉サービス事業所の共同受注窓口である越前市社会就労センター協議会は、市補助金と各事業所からの手数料で運営されており、新たな販路拡大に努めている。また、福井国体を契機とした販路拡大の一例として、市民への広報、周知を図る「卓上ミニのぼり旗」を協議会を通して制作しており、今後も障がい者就労施設等の提供する物品、サービスの優先購入を推進していく。

■水害に強い河川の整備を進めよ

問 水害の恐れがある吉野瀬川、鞍谷川、服部川、水間川等の河川整備の進捗状況はどうなっているか。

答 鞍谷川と岡本川の合流地点に監視カメラを設置し水位状況を確認し、避難等の判断情報として活用する。また、河床の掘り下げ、護岸の補強、浚渫、伐木などを行い流下能力の確保に努めている。服部川の改修については、河川改修の早期事業化を県に強く要望している。鞍谷川上流部味真野地区と吉野瀬川上流部の神山地区において、本年度より水田貯留事業に着手し、河川への流出量を抑制する対策を行っている。

■質問項目

授産製品販路拡大・公立小中学校教諭の労働時間・丹南地域の連携・防災体制・鳥獣害対策



川崎 悟司

■大型事業実施に当たり健全な財政運営に努めよ

問 合併協議において課題となっていた新庁舎建設については、現在地に建築されることになり、半世紀に一度のまちづくりが具体的に進み始めた。100億円を超える事業に対する市民の不安に対してどう答えるのか。

答 普通建設事業費の今後の見込みについては、新市建設計画に示しているとおり50億円を目標とし、財政的に有利な市債や基金などを有効に活用し、将来負担を軽減し健全な財政を維持しつつ、計画的な財政運営に努めていきたい。

■今後の農政のあり方を見据えた対策を進めよ

問 米価の下落傾向が止まらず、後継者不足や有害鳥獣の被害拡大など解決に向けての長期的な取り組みが求められる。TPP交渉も大筋合意に達し、農業、食の安全への影響は計り知れない。政府は減反政策を平成30年度に廃止する方針を決定したが、それに対する対策はどうなっているか。

答 農業の弱体化が懸念されており、現行の交付金による国の長期的な支援の継続が必要である。後継者の確保や技術の継承を確実に図りながら、関係団体との連携を強化し、担い手や生産組織の横の繋がりをも促進していく。

■質問項目

今後の農政のあり方・安心して暮らせる長寿社会・半世紀に一度のまちづくり事業に関する財政見通し・地方創生

■高すぎる国保税のさらなる値上げはやめるべき

問 ①国民健康保険税の新年度からの値上げが予定されているが、市民の税負担能力は限界であることから値上げはやめるべきである。②国保税の均等割については、18歳未満の子供が二人以上いる場合は、二人目以降の均等割を減免する多子減免制度の実施を考えよ。

答 ①医療費が増加し、国民健康保険基金も枯渇した上に、一般会計から多額の繰入れを行っている状況が今後も続くことが見込まれることから税率改定を行った。②低所得者世帯に対しては軽減制度を設けており、平成27年4月からさらに負担軽減を拡充した。

■希望する保育園に入園できる環境を整えよ

問 ①越前市では保育園での待機児童はいないと聞いているが、保護者が希望する保育園に全員が入れているのか。②年度途中での入園は困難だと保護者から聞いているが、年度途中でも受け入れられる体制の整備を求めよ。

答 ①保護者が希望する保育園は、生活している地域内だけでなく、勤務先の地域の保育園を希望する場合も多くあり、調整困難な場合もある。②途中入園の調整は難しいが、可能な限り希望に沿えるよう調整を行っている。

■質問項目

国民健康保険税・市総合戦略・まちなか政策を市内全域に・住宅リフォーム助成制度・学校教育

12月定例会の概要

平成27年第5回越前市議会定例会は11月27日から12月18日までの22日間にわたって開かれました。

この定例会では、本年度一般会計補正予算案(7億9,890万円)など8件、越前市個人番号の利用に関する条例制定案など7件、指定管理者の指定に関する一般議案など10件を原案どおり可決しました。また、平成26年度各会計決算認定案等8件を認定・可決しました。

なお、一般会計補正予算案では、今立歴史民俗資料館等の改修に関して3議員が再検討を求め附帯決議を提出しましたが賛成少数で否決されました。

このほか平成28年度税制改正における自動車関係諸税の見直しを求める意見書を可決、請願1件をみなし採択、ほか1件を継続審査としました。

総額18億6,636万2千円の補正予算を可決

(単位:千円)

会計別	補正前 ①	補正額 ②	補正後 ③	伸び率(%) ②/①
一般会計	36,918,206	798,900	37,717,106	2.2
特別会計	21,075,313	973,325	22,048,638	4.6
企業会計	2,812,203	94,137	2,906,340	3.3
合計	60,805,722	1,866,362	62,672,084	3.1

予算審議

南越駅周辺の地形測量等を開始

北陸新幹線南越駅周辺整備事業
2300万円

南越駅のアクセス道路は丹南地域の玄関としてふさわしい構造にすべきと考え、この予算は何に使われるのか。また、土地利用の計画はこの予算に含まれるのか。

この予算は、南越駅周辺で想定しているエリアや駅へのアクセス道路の地形測量を行うための費用である。アクセス道路は、県において整備するよう県に対し強く要望している。どの程度の道路幅員が必要か、といった道路が南越駅にふさわしいか、といった根拠をきちんと詰めていくために、この南越駅周辺の地形測量等を実施する予算を計上した。

土地利用計画については、平成28年度策定予定の都市計画マスタープランとの整合性を図りながら、基本計画策定後に検討する。

空き家、空き室情報を集約し発信

住まい情報活用支援事業
500万円

一戸建ての空き家情報に加えて、アパートなどの空き室情報を一元的に発信することだが、一戸建ての情報の収集やこの事業内容の周知はどのように考えているか。

行政がこの住まい情報活用システムを作ることで、個人が所有する一戸建ての空き家の情報の掘り起こしが期待できる。そのような個人の情報は、市に申し込みがあった段階で不動産会社を紹介し、不動産会社を通じてシステムに登録するような流れを考えている。

また、このシステムについては市ホームページで周知し、広く情報を募集・発信していく。システムの入口は市ホームページの分かりやすいところに作り利用しやすいものにする。

紙の文化博物館、今立歴史民俗資料館の改修を実施

工芸の里構想推進事業
5160万円
歴史民俗資料館施設管理事業
950万円

越前和紙の振興対策として、紙の文化博物館や今立歴史民俗資料館の改修に多額の補正予算を計上しているが、関係者や地域の意見を酌み上げる時間的余裕がない中で決定で、今後のあり方も十分に検討されていないと感じる。この点についてどう考えているか。

建物の構造上の制約や文化庁の指導などを踏まえて、福井県和紙工業協同組合や紙の文化博物館職員と話し合いを重ね、協議が整ったので予算を計上した。



国指定重要有形民俗文化財の和紙製作用具等の保管場所として改修される今立歴史民俗資料館



越前和紙の里紙の文化博物館：リニューアル工事のため休館中(平成29年3月末まで)

一般議案審議

しきぶ温泉「湯楽里」の指定管理者の選定方法について

指定管理者選考に当たり、選考委員7名がつけた点数全てを採用する方法と、最高点と最低点を除いた点数を採用する方法とがあると聞くが、全委員の点数を採用する方法としたのはなぜか。

湯楽里は全市民が利用する施設であり、指定管理者の選定に当たっては様々な意見を取り入れたいと考えた。選定委員会は福祉関係者、市民の代表、税理士等で構成されており、意見が反映させるために、委員がつけた点数全てを採用する採点方法とした。



越前市もやいの郷・農楽園の指定管理者は公募により決定

今までは公募になじまない施設として募集しよらない方法で指定管理者を決めてきたが、今回、公募による方法としたのはなぜか。

指定管理者がイベントを積極的に企画運営し、地産地消の推進や地域活性化を図るとともに、指定管理者に利用者増加のための企画を提案してもらうため、様々な団体からの応募を期待して、今回は公募とした。



越前市の食文化や地域文化を体験できる越前市もやいの郷・農楽園

より建設的な議論を目指して

議員研修会を開催

市議会は平成27年11月4日、議会活性化への取り組みの一環として議員研修会を開催しました。

仁愛大学人間学部コミュニケーション学科講師の升田法継氏、プロファイナリーターのワークセッションデザイナーの富永良史氏を講師に招き、会議のあり方や意見集約のやり方について学び、その後、少人数に分かれてワークショップを行いました。

今後、この研修で学んだことを生かして、議員相互の自由討議を推進していきます。



講義に引き続き実施されたワークショップで熱心に議論する議員

1月臨時会の概要

平成28年第1回越前市議会臨時会が1月14日に開かれました。越前和紙の里を舞台とした映画「つむぐもの」のポスター・チラシ等作成のため、県和紙工業協同組合が配給元に越前和紙を提供する費用の補助110万円などの平成27年度一般会計補正予算案(補正額458万1千円・補正後の予算総額377億2168万7千円)1件が提出され、本会議の審議、委員会の審査を経て、採決の結果、可決しました。

12月定例会

一般質問

12月定例会では、13人の議員が12月7日・8日の2日間、一般質問を行いました。多くの質問項目の中から1人1項目を選び、ジャンルごとに質問・答弁を要約して掲載しました。なお、詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

越前市議会

検索

越前市議会 < 越前市

インターネット議会中継

子ども・教育

子育て世代のニーズに沿った対応を進めよ

共稼ぎの家庭では子育てと仕事の両立は大変だと聞いている。一方では貴重な労働力であり、もう一方では家庭を持つ健全な市民生活の担い手でもある。市は幸福な子育てと仕事の両立の現状をどう認識しているか。

越前市は保育園の待機児童もなく、一時預かり事業を実施するなど体制を整えている。県内で唯一子ども条例を制定し施策を推進しており、子育て環境は全国的に見て高いレベルと認識している。

他の質問項目

- ・市人口ビジョン及び市総合戦略との関連について
- ・国民健康保険税の改定について

未来

片粕正二郎



子どもの貧困の連鎖を止める政策の実現を図れ

昨年度市内で児童虐待が58件報告された。虐待や不登校が貧困の原因で起こることもある。全ての子どもが安心して生活できる環境を作るため、実態を把握することが第一歩と考えるが、現状はどうなっているか。

「子ども・子育て総合相談室」が相談を受けた際「生活困窮窓口」と連携を図りながら対応している。現在のところ実態調査の実施はしていないが、今後、情報を収集するシステムを検討する。

他の質問項目

- ・中心市街地について
- ・自治振興会のあり方について

政新会

安立里美



武生東高等学校に通う生徒への通学支援策を検討せよ

武生東高等学校は進学校として、さらに国際科を中心にグローバル人材育成の拠点校として発展している。市内から320名の生徒が通学しており、現在、学校の緊急かつ重要な課題は通学環境の改善である。通学生徒に何らかの支援が必要ではないのか。スクールバスの運営など生徒の通学は、基本的に保護者の方や県立高校及び設置者の県の教育委員会の課題であり、市としては、通学手段は把握していない。

他の質問項目

- ・孤立死対策について
- ・女性が輝くモノづくりのまちについて

未来

中西真三



教育環境をハード・ソフト両面から整えよ

①市内小中学校のエアコン設置や机の更新状況は。②教員の勤務時間短縮対策は。③小中学校の英語教育の取り組みは。

①エアコンは緊急性や財政状況を勘案し検討していく。机や椅子は順次修繕をしている。②勤務時間短縮対策として、学校ICT環境の整備を推進する。また、校務支援システムを導入し事務的負担の軽減を図る。③小中学生が英語を話せるような教育を充実するため外国語指導助手を増員した。

他の質問項目

- ・猿の捕獲について
- ・越前市人口ビジョンについて

市民ネットワーク

小玉俊一



人口問題・定住化促進

住宅支援策の対象区域を拡大せよ

市内の集合住宅に空きがなく、特に独身者が入居できず市外へ人口が流出しているという状況をよく聞く。集合住宅に対する支援制度である民間優良共同住宅整備促進事業は、対象区域が中心市街地限定となっているが、この区域を広げる議論はされているのか。

対象区域の拡大については、居住誘導区域等の設定を行う立地適正化計画を策定する際、今後検討していきたい。

他の質問項目

- ・越前市の道路政策について
- ・南越駅(仮称)周辺整備について

市民ネットワーク

吉田啓三



人口減少、少子高齢化に伴う課題に対応せよ

厳しい財政状況や人口構成の問題など、市の現状と課題、進むべき方向性について、市長の見解はどうか。

厳しい財政状況の中で、市民生活に直結する事業を確実に実施できるよう安定した財政運営に努めている。定住化促進については、女性の幅広い社会進出を後押しする施策に力点を置き取り組んでいく。人口減少社会にあつては元氣な高齢者の活躍にも期待し、施策の推進に努めている。

他の質問項目

- ・年々増加する民生費に対する対応策について
- ・外国籍の児童への対応について

誠和会(自民・公明)

清水和明



非婚晩婚化に歯止めをかける施策を実施せよ

越前市婦人福祉協議会が行う結婚相談事業の実績と、非婚化傾向に対する市の取り組みはどのようになっているか。

婦人福祉協議会が取り組む結婚相談事業の実績は、昨年度はお見合い件数108件で婚姻数は10組だった。非婚、晩婚化は、市民全体で共有する社会問題の一つとしてとらえ、親世代に対して情報交換の場の提供や働きかけをし、お見合いなどを復活する取り組みを支援したいと考えている。

他の質問項目

- ・越前市の財政について
- ・各計画策定の手順について

市民ネットワーク

吉村美幸



人口減少に歯止めをかけ、定住化を促進せよ

転入者から転出者を引いた社会移動は、10年前と比較すると大幅に減少し本市は人口減少自治体となった。男性が鯖江市、女性は福井市への転出超過が多い。これに対応した施策が必要ではないか。

立地企業への支援や既存産業の活性化等による働く場所の確保・充実に取り組み、転出抑制、転入促進に努める。また、住まいの充実や市内企業と連携した職住近接支援等を行い、働く世代の定住化促進に取り組む。

他の質問項目

- ・地域包括ケアシステムの構築について
- ・地域防災力の強化と原子力災害対策

市民ネットワーク

三田村輝士





※一般質問

議員が行政全般にわたり、市長等の理事者に対し、事務の執行状況や将来の方針等について説明を求め、疑問点をたずねるための質問のことをいいます。

国体

他の質問項目

国体における市民参加型事業について
ソフトボール会場の武生東運動公園ソフトボール場ソフトテニス会場の武生中央公園庭球場はどのような改修が行われるのか。

国体に向け競技会場の整備を進めよ

農業

他の質問項目

生涯学習センター機能継続について
地方創生について

転換期を迎える農業に的確な政策を実行せよ

①越前市を「日本晴」の一大産地にするための市の支援策は。
②農地の受け手を確保する対策を講じているのか。

コンパクトシティ

他の質問項目

人・農地プランや農地集積の推進について
新庁舎建設について

市が目指すコンパクトシティとは何か

市が考えるコンパクトシティは、中心市街地だけでなく、周辺部や農村部もインフラ整備されているので、その地域も支援し守っていく方針と考えてよいか。

防災

他の質問項目

「気がかりな人」の見守り活動について
マイナンバー通知カード送付状況と課題

安心・安全な暮らしを目指し地域防災力の向上を図れ

①町内集会所の耐震診断進捗率は。②本市の防災士育成事業の概要は。③避難マニュアル・防災マップづくりの現状は。④避難行動要支援者の避難支援の課題は。



市民ネットワーク 霜実男



誠和会(自民・公明) 大久保健一



未来 佐々木哲夫



日本共産党議員団 加藤吉則

市議会本会議・常任委員会を傍聴しませんか

本会議や委員会は、入口で住所、氏名などを記入するだけで、どなたでも傍聴できます。場所は市役所別館6階です。お気軽にお越しください。

3月定例会日程

月日	会議名
2月22日(月)	本会議(提案理由説明)
25日(木)	本会議(質疑、一般質問)
26日(金)	本会議(質疑、一般質問)
29日(月)	本会議(一般質問)
3月1日(火)	本会議(一般質問)
2日(水)	本会議(一般質問)
3日(木)	常任委員会
4日(金)	常任委員会
7日(月)	常任委員会
8日(火)	常任委員会
9日(水)	常任委員会
10日(木)	常任委員会
11日(金)	特別委員会
17日(木)	本会議(各委員会審査結果報告、質疑、討論、採決)

政策提言実現に向けて
決算審査のあり方についてつらなる調査研究をします
議会活性化特別委員会委員長報告から
議会活性化特別委員会では、12月定例会において政策提言を見据えた決算審査のあり方について協議しました。

本年度については、決算審査を来年度予算に反映すべく、各常任委員会において、越前市総合計画に掲げられている各施策の中から、決算審査の際に重点的に審査したい項目を各部署1施策ずつ選定した上で、「市民と議会との語る会」を開催するなど、新たな試みを取り組んでまいりました。



市政の重要政策や議会活動について協議する議員協議会

かつたことなどから、政策提言に結びつけるには至りませんでした。
今回の反省を踏まえ、今後は、決算審査に向けた調査研究への着手を前回よりも繰り上げて行い、また、全議員の討議のもと、素案を精査し、磨き上げる場を充実させ、さらには議員一人一人の討議力向上に向けた取り組みも行うなど、さらなる調査研究、議論を重ねていき、現在の越前市に、真に求められている政策について、提言実現に向け、議会全体で醸成できるよう、継続して取り組んでまいります。

指定管理者制度

他の質問項目

防災組織の見直しについて
公共交通の整備について

指定管理者選定方法の見直しを図れ

指定管理者制度導入施設は評価委員会が運営状況を評価しているが、評価結果が次回の指定管理者の選定に反映されるよう、また、選定委員会の運営方法も適正な裁定になるよう見直しされたい。



未来 小形善信

Table with columns for '議員名' (Council Member Name), '議案等の名称' (Name of the Proposal), and '賛否' (Approval/Disapproval) for various council members. It lists various budget items and resolutions with corresponding approval marks (O for approval, X for opposition, etc.).

○:賛成 ×:反対 △:継続審査に賛成 (注)議長は過半数議決の採決には加わりません。特別多数議決の採決には議長も加わります。
市民ネ:市民ネットワーク 誠和会:誠和会(自民・公明) 共産:日本共産党議員団

12月定例会委員会報告

議案を審査するため常任委員会を開催しました。掲載記事は委員長報告の主な内容です。

教育厚生委員会

しきぶ温泉湯楽里の指定管理者の指定期間を5年から10年に変更
しきぶ温泉湯楽里の指定管理者の指定について、委員からは、今回の指定における変更点についてたゞされました。

これに対し、委員からは、今後10年にわたって利用者が増えるよう、施設活性化策に取り組み、安全面についてもしっかりと対策を講じられたいとの要望がなされました。

今立歴史民俗資料館を文化財の収蔵庫に改修
平成27年度越前市一般会計補正予算(第4号)中、歴史民俗資料館施設管理事業について、委員からは、重要有形民俗文化財に指定された和紙製作用具や製品の保管に、今立歴史民俗資料館を改修し、文化財の収蔵庫として使用することについて、越前和紙は今後、世界遺産登録に向け、さらなる発展の可能性がある。今回の資料館改修という対応は、将来の長期ビジョンを持って行っていることなのか、とたゞされました。

理事者からは、今回の事業については、文化庁にも事前に協議し、了解を得ている。また、今立歴史民俗資料館の改修は、地域全体の構想や、今立総合支所周辺整備における配置コンセプトをもとにしたものであり、これは遠い将来にわたって引き継がれていくものと考えている、との答弁がなされました。

産業建設委員会

本件の採決に当たっては、委員からは、越前和紙産地が有する歴史やその文化を生かすためにも、長期構想をもった事業計画を期待しているが、今回の対応は安易な計画のように思える。再度十分な審議をされ、見直しを図りたい、との反対討論がなされました。採決の結果、本件につきましては、賛成多数をもって原案通り可決すべきものと決しました。

工芸の里構想に基づく紙の文化博物館改修工事を進める
平成27年度越前市一般会計補正予算(第4号)中、工芸の里構想推進事業について、委員からは、現在進められている紙の文化博物館改修工事は場当たり的な事業で、福井県和紙工業協同組合や地域住民と十分な協議がなされていないと感じている。市は、関係者の声を十分に計り入れ、将来的な展望を持った計画を立てて事業を進めるべきであるとの意見が出されました。

理事者からは、工芸の里構想は将来的な展望を見据えながら関係者との協議を経て策定されたものである。その構想に基づいて、紙の文化博物館改修工事についても、文化庁をはじめ和紙組合など産地との協議が整ったので、今回費用対効果も含めて検討した上で予算を計上したとの答弁がありました。
本件の採決に当たっては、委員からは、工芸の里構想推進事業については、越前市の産業振興に効果的なのか、議員間で情報を共有し、時間をかけて判断する必要があるとの理由から本件に反対するとの討論がなされました。採決の結果、本件につきましては賛成多数をもって原案通り可決すべきものと決しました。

総務委員会

武生東公民館の移転スケジュールとアクセス道路・駐車場の移転について
平成27年度越前市一般会計補正予算(第4号)中、本庁舎建設事業に併し、委員からは、新庁舎建設に伴い、武生東公民館移転の取り組み状況についてたゞされました。

理事者からは、武生東公民館の移転については、東地区の住民の方々の協議を続ける中で、武生東幼稚園、武生東小学校の北校舎の1階部分に移転する計画で調整を行っている。夏休み中の平成28年8月中までに改修を行い、9月に引越し、10月から新しい公民館としての活動が始まるというスケジュールを予定しているとの答弁がなされました。
さらに委員からは、新しい武生東公民館までのアクセス道路及び駐車場の確保についてたゞされました。
理事者からは、公民館までのアクセス道路については、中心市街地活性化基本計画の中で位置づけを検討しており、来年度に調査事業に着手していきたいと考えている。また、駐車場についても、利用状況等から分析し、必要台数を確保することで協議を行っているとの答弁がなされました。
委員からは、東地区は活発に活動を行っている地区であり、地区住民の方々の要望に沿う形で移転となるよう検討を続けるよう要望がなされました。

議会だより編集委員会
委員長 佐々木哲夫
副委員長 加藤吉則
委員 清水和明
委員 吉村美幸
委員 安立里美
市議会事務局
TEL (22) 3426

